教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 西嶋保子
電話 050（3538）2346
1部15円 年定価360円（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2017/11・1
No. 1940

2面

・フィンランドの教育とOECD教育局
・夏休みファミリーパズル当選者発表

今こそ学ぶヒロシマの平和教育　被害と加害

2017 ヒロシマ・フィールドワーク

平和憲法が脅かされ、近隣諸国との政治的緊張が高まっている今、平和教育のさらなる深化と充実をはかっていくため、特別事業として実施。

8月17日から2日間に渡り特別事業「ヒロシマ・フィールドワーク」を実施した。県内各地より41人が参加した。

行程・内容は平和教育部会研究所員が協議・検討し、被害と加害の地を訪問して平和教育を多面的にとらえる機会とすること、高齢化がすすむ被爆者・戦争体験者の証言を実際に聴くこと等を貴重な機会とすること等を主な目的として実施した。

フィールドワーク

◆1日目

1日目は、主に大久野島のフィールドワーク（以下、FW）をおこなった。

訪問前のバス車内において、研究所員が用意した資料やビデオでの解説があり、戦時中に毒ガスを製造していたことを初めて知る参加者もおり、よい事前学習となった。また、FWの前に、戦時中に学徒動員により大久野島で働いていた岡田黎子さんから、当時の様子について話を聞いたことも、その後の学びをより深いものとする貴重な経験となった。

当時の様子を語る岡田黎子さん

大久野島では、平和教育部会協力研究所員の山内静代さん（広島平和教育研究所）らから詳細な解説を受けながら、島内の各遺跡を見学した。広島は原爆を投下された被害の地だっただけでなく、加害の地でもあったことを実感することができた。

◆2日目

広島市内のFWをおこなった。

修学旅行でよく訪れるのは平和記念公園であるが、その周辺にある被爆跡を中心に、山内さん、濱野梢さん（広島平和教育研究所）の解説を聞きながら訪問した。また、原爆養護ホーム・舟入むつみ園では、被爆体験者のみなさんから当時の様子について証言をうかがい、貴重な経験の継承者として改めて責任を強く感じた。

参加者からの感想

「単に過去の話、広島の話と他人事で終わらせず、今の自分と結びつけて戦争や平和について子どもたちが考えることができるようにしないといけないと強く感じた」「戦争があれば人々は大きな被害を受ける。しかし、何も知らずに行動すれば加害者にもなり得る。このことを忘れずに伝えたい」「聞かせていただいたお話は、平和学習や日々の授業の中で子どもたちにも伝えたいと思った。また、教員どうしの語り継ぎの中でも伝えていきたい」などの感想が寄せられた。

過密な日程の中、大きな学びとなったという声が多く聞かれた。参加者が継承者として今回の経験を、県内各地域組合でより多くの方に語り継ぎ、平和教育の深化と充実につなげていこうと確認して、全日程を終えた。

南あわじ市議会議員選挙 土井たくみさん 当選！

当選後あいさつをする土井たくみさん

10月22日に南あわじ市議会議員選挙（定数18）が執行された。

兵政連候補の「**土井たくみ**」さんが2，073票を獲得し、20人の立候補者中2位で初当選を果たした。

2回目の当選を果たした久元きぞうさん

投票率は、台風の影響もあり前回72・44％に比べて、4・94％減の67・5％だった。

同日執行された神戸市長選挙では、兵教組が推薦した「**久元きぞう**」さんが前回より178，175票多い340，064票を獲得し、2回目の当選を果たした。

衆議院議員選挙等が投票日と重なったこともあり、投票率は、前回36・55％に比べて、11・03％増の47・58％だった。

土井たくみさんの声

「長く学校教育に携わった経験をもとに、地場産業の振興、教育・福祉の充実をはじめ、働く者の立場から地域のみなさんの意見、要望を確実に市政に反映し、実現していく。すべての世代の市民が、健康で安心して暮らせる『住みやすい・働きやすい・学びやすい』南あわじ市をめざして皆さんの期待に応えられるよう誠心誠意、尽力いたしていきたい。」と語った。

久元きぞうさんの声

「兵教組の皆さんには一方ならぬ尽力を賜った。神戸市を安心して子育て・教育ができる街につくりあげることは、重要と捉えている。学校教育においては、いじめ撲滅にむけたとりくみの強化や、不登校対策、国際感覚にあふれる神戸らしい教育の実践、児童生徒の学力向上をめざすとりくみを強化していく。そして、学校空調設備の整備、中学校給食の実施、学校施設の耐震化課題に立ち向かい、子どもたちが学校で安心して学べる教育環境の整備・充実にも積極的にとりくみ、『教育子育て日本一のまち』をめざしていく。これからも神戸のために頑張っていく」と語った。

「おやつパーティーしながら音楽会」
淡路市立北淡小学校　一年　原田 直実
（こどもの詩と絵　第36集より）

2017 Autumn
Lasse Hall
人集い、街華やぐ交流拠点

秋のバンケットプラン

2017年9/1(金) ▸▸ 2017年11/30(木)

懇親会・交流会・同窓会など気の合う仲間と楽しいひとときを

ブッフェ形式にすると、料理が一品（おまかせ）追加できさらにお得に！

お料理＋フリードリンク

2時間制 20名様から

※写真は華コースです。

華 はな　和洋中卓盛り料理　お一人様（税金・サービス料込）5,000円
- 中華前菜3種盛り
- 烏賊と秋野菜のトマト煮
- 二種の太巻き寿司
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）
- 蒸し鶏のサラダ仕立て
- ポークの一口カツ フライドポテト添え
- 椀子蕎麦
- サーモンのたたき 芥子酢味噌
- ハッシュドビーフ ヌードル添え
- デザート（ブッフェコーナーにてご提供）

彩 いろどり　和洋中卓盛り料理　お一人様（税金・サービス料込）6,500円
- 鯛と青紫蘇のカルパッチョ風サラダ
- 豚バラ肉の茄子、エリンギ巻きソテー ピリ辛ソース
- にぎり寿司と押し寿司
- フルーツ＆デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
- スモークサーモンと秋刀魚レモンメ
- 若鶏と秋野菜の照り焼き 柚子胡椒風味
- 椀子蕎麦
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）
- お造り二種盛合わせ（鮪、烏賊）
- 牛肉の煮込み

雅 みやび　和食卓盛り料理　お一人様（税金・サービス料込）6,500円
- 前菜五種盛り込み
- 秋刀魚の竜田揚げ 黒酢ソース
- にぎり寿司三種
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）
- お造り三種種盛合わせ
- 蓮根饅頭 木ノ子餡かけ
- 椀子蕎麦
- 若鶏の味噌漬け焼き
- 豚ばら肉と根菜の炊き合せ
- フルーツ＆デザート（ブッフェコーナーにてご提供）

プラス フリードリンク
- 瓶ビール　- 焼酎（芋/麦）　- ウィスキー　- ハイボール　- 赤/白ワイン　- 日本酒　- ウーロン茶　- オレンジジュース

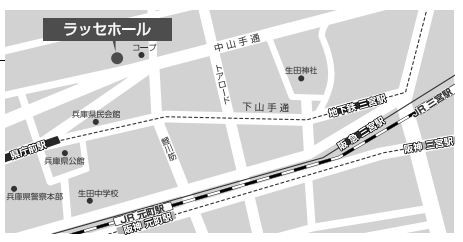
※記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたしますのでご相談下さい。

注意事項
※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
※料金には、お料理、フリードリンク、音響・照明費（ワイヤレスマイク2本付）、会場費（2時間）、税金、サービス料が含まれております。
※ご延長の際は30分につきお一人様500円（税金・サービス料込）の追加料金をいただきます。
※当日キャンセルの場合は、全額キャンセル料としていただきます。
※当日にご利用人数が増えた場合は、別途料金を頂戴いたします。

その他、オプション等、多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合せはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10－8
TEL.078-291-1117（代表）
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com



フィンランド・OECDのとりくみに学ぼう！
～フィンランド・OAJ・OECD教育局訪問～

8月17日から7日間、県内の教職員をはじめとする30人が「フィンランド・OECD教育文化交流団」に参加し、ヘルシンキとパリを訪れた。フィンランドのレヘティクーシ校、OAJ（フィンランド教職員組合）、フランスではOECD（経済協力開発機構）教育局を訪問し、教育課題について交流を深めた。
その中で、学校訪問の記録・参加者の感想から一部を抜粋して掲載する。

吉仲伸隆（尼崎）
「Well-being の視点」

日本の学校を考えると、おそらくほとんどの教職員は児童生徒の背景や特性に関心を持ち、それをふまえた教育をおこなおうとしているのではないか。特にインクルーシブ教育の考えが浸透するにつれ、それぞれの児童の持つ背景や特性に配慮しようという気運が高まっているように思う。「Well-being」（＝健やかさ・幸福度）というよりは、できるか・できないかにどうしても目線が集まってしまっているようにも思う。

できるか・できないかではなく児童の「Well-being」に、組織でアプローチしていく点は、一度見つめ直してみる必要があるように思う。

リンを泳がせるようにするのとでは、魚を泳がせるようにする方が簡単だ」という例え。結果ではなく、そこにたどり付くまでのプロセスを大事にし、子ども一人ひとりの個性を見極めてそれを伸ばす、というフィンランドの教育を象徴する言葉だと思った。

今年度から校内研修担当になり、子どもたちの学力を伸ばすためにどうすればいいか、ずっと考えてきた。この経験をこれからの研修に生かしていきたい。

年のチーム、校長・教頭が参加しない、ペアモニタリング（教職員どうしがリーダーシップをとって課題について話し合うチーム）などがある。これはスタンフォード大学が考え出したシステムで、互いに抱える問題や課題について話し合うことができ、2015年の開始から好評で、現在も継続している。

○教科横断的なカリキュラム

実際に何かをやってみて、それがどうだったかを検証する学習。従来の教科ごとではなく、全体的にとりくんでいく。情報は教員だけでなく、児童生徒も共有することで、新しいものが生み出されるという考えに基づいている。

OECD訪問

今回の訪問では、全世界の50万人以上の15歳生徒の「Well-being」に焦点を当てたPISA調査の話を聞いた。

その中で、「生活に満足しているか」という質問に対して、日本の生徒は他国の生徒と比べ、成績と生活満足度の相関性がみられないことがわかった。満足度が低い要因には、「いじめ」「学校の成績の不満」「インターネットの利用時間がすごく長い」などが関係していることがわかった。

※詳細は『こどもと教育』No.157号に掲載予定

参加者の感想（要旨抜粋）

板垣佐和子（姫路）
「いいところを伸ばす」
「失敗してもいい」
「努力したことを認める」

学校訪問で、特に印象に残ったことを書き留めた。先の3つの言葉と、「魚を泳がせるようにするのとキ

Lehtikuusi（レヘティクーシ）School

ヘルシンキの中で最も大きな学校。教職員数78人、7人のアシスタント教員。965人の52の異なる母国語をもつ児童生徒がいる。1年生から9年生まで50学級、特別支援学級が7学級ある。

教育ビジョンは「すべての児童生徒の良い面を見つけること。勇気をもって挑戦し、失敗を恐れないこと」また、特別な支援を必要とする児童生徒のために多くの支援の仕組みがあり、特に「社会的コミュニケーションスキル」力をつけることをねらいとしている。

学校があるヴァンター市は、教育の戦略的なポイントとして、言語認識、人との交流、「Well-being」（児童生徒の幸福度）の3点を重点的にとりくんでいる。

学校のIT化について

生徒用のクロームブック（ノートPC）150台、ラップトップパソコン50台、タブレット250台を整備。電子教材の利用が増えてきているが、従来の本による教育と両方を使う形でバランスをとった教育がおこなわれている。教職員もいろいろなアプリを教材に使用し、教員どうし共通のテーマで使えるものをクラウドを使い共有している。生徒も自己評価や他者評価ができるシステムになっている。

フィンランドには「ビルマ」という保護者と学校間の通信のために使われるソフトがある。スマホアプリを使い、リアルタイムで生徒が登校しているかなど確認でき、すぐ連絡がとれるようになっている。教員の授業のなかでもイントラが使える。

電子教員室図

校舎ごとの授業状況やアシスタント（支援員）がどの授業に参加している

か、また、今週のスケジュールや訪問者などを確認することができる。各教員室にモニターがあり、全体の情報が把握できる。昨日の出来事なども共有でき、教員は自分のパソコンやイントラで学校のさまざまな情報を共有できる。オンラインなので、自宅にいても外出先でもスマホ等で確認できる。このシステムで全体の情報の共有ができるようになった。

チームとしての教育方法

新しい教育カリキュラムに含まれるトピックにあわせて、さまざまな分野でチームがつくられている。例えば、ICTや「Well-being」など7つのチームがある。各チームは立場の違う教職員が参加する形でつくられている。教科や学

地域の「Well-being」チーム

教職員だけでなく、保健師や学校クリエーター、哲学者、心理学者などが含まれている。児童生徒や教職員の「Well-being」を高めることをねらいとしている。校長と2人の副校長、2人のチーフがおり、実際の意思決定の部分をお互いに支援する仕組みとなっている。

新しい教育カリキュラム

○評価システム

児童生徒にとってわかりやすく、オープンなものとなっている。児童生徒自身も自分自身の教育計画・個人計画をもち、それにたどりついたかどうかを評価する。児童生徒どうしの評価も自分たちの成績に反映されている。

夏休みファミリーパズル当選者発表

夏休みファミリーパズルにご応募いただき、ありがとうございました。応募総数68通のうち、正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、「勤務時間の適正化は、制度が変わらなければ変わらない」「サマーワークショップの話が興味を持って読めた」といった声や、教育ひょうごの記事を読んで、学習会のインクルーシブ教育の必要性や課題、『子どもは子どもの中で育つ』という記事に共感した等、多くのご意見・ご感想をいただきました。

今後もより良い紙面づくりをめざして参ります。よろしくお願いいたします。

（編集部）

当選者の皆さん

青木あかね（明石市）、井尻修子（姫路市）、片平延枝（淡路市）、桑本聡子（相生市）、小山彩華（丹波市）、庄健裕（宍粟市）、竹元三奈（赤穂郡）、土野繁樹（豊岡市）、鳥越実穂（尼崎市）、中島達也（朝来市）、仁尾勝（宝塚市）、西山亜希（加東市）、原友香（洲本市）、平田新二（宍粟市）、藤原幸美（西脇市）、増田光（加西市）、宮地加織（南あわじ市）、村田奈美（西宮市）、山下武馬（篠山市）渡瀬智子（神戸市）

50音順、敬称略

★皆さんの感想やご意見をお待ちしております。

自動車共済・2017年9月1日より制度改定しました！

教職員のための共済だから！

■通勤中の事故は等級ダウンなし！　NEW
※補償充実コース・6等級以上で1共済期間中1回限り
※既契約に対しても、9月1日以降適用となります

■公務使用中の事故も等級ダウンなし！
※全コース・全等級に適用

■事故有係数使用の等級割引制度不採用！
多くの損害保険会社や共済で導入されている
「事故有係数」を使用した等級割引制度は採用していません。

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

あんしんむすぶ・教職員共済
資料請求・お問い合わせは▶
教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所
〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目
10-8 ラッセホール4F
電話（078）221-9730
FAX（078）221-1199
承17-56-01（1707）